



平成 20 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 丹 青 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 渡 辺 亮  
本 社 所 在 地 東京都台東区上野 5 丁目 2 番 2 号  
(コード番号 9743 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 鈴木 義 隆  
(TEL 03-3836-7282)

(訂正)「平成 19 年 3 月期 中間決算短信 (連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社は平成 20 年 7 月 25 日付の「当社連結子会社における不適切な会計処理について」において、過年度決算を訂正する旨公表いたしました。本日、その具体的な訂正内容が確定いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には(下線)を付して表示しております。

また、同期間の半期報告書および有価証券報告書につきましては、本日訂正報告書を関東財務局へ提出いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 訂正を行う中間決算短信 (連結) の概要

決算期：平成 19 年 3 月期中間期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

公表日：平成 18 年 11 月 17 日

2. 訂正に至る経緯

訂正に至る経緯につきましては、本日別途開示いたしました「当社連結子会社における不適切な会計処理に関する調査結果のご報告」に記載しておりますので、合わせてご参照くださいますようお願い申し上げます。

以 上

平成 19年 3月期 中間決算短信(連結)

平成 18年 11月 17日

上場会社名 株式会社 丹青社

上場取引所 東

コード番号 9743

本社所在都道府県

(URL <http://www.tanseisha.co.jp>)

東京都

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 渡辺 亮  
 問合せ先責任者 役職名 取締役常務経営管理本部長 氏名 鈴木 義隆 TEL (03) 3836 - 7282  
 決算取締役会開催日 平成 18年 11月 17日  
 米国会計基準採用の有無 無

## 1. 18年 9月中間期の連結業績 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

(1) 連結経営成績 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 9月中間期	27,404	10.0	△ 303	-	△ 225	-
17年 9月中間期	24,921	5.4	△ 587	-	△ 545	-
18年 3月期	62,547		591		610	

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年 9月中間期	663	-	27.85		27.72	
17年 9月中間期	△ 581	-	△ 26.35		-	
18年 3月期	178		7.41		7.27	

(注) ①持分法投資損益 18年 9月中間期 △0 百万円 17年 9月中間期 - 百万円 18年 3月期 - 百万円  
 ②期中平均株式数(連結) 18年 9月中間期 23,838,974 株 17年 9月中間期 22,081,780 株 18年 3月期 22,113,888 株  
 ③会計処理の方法の変更 無  
 ④売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
18年 9月中間期	35,147		13,332		37.9	540.47
17年 9月中間期	30,488		11,029		36.2	498.70
18年 3月期	36,597		11,989		32.8	534.51

(注) 期末発行済株式数(連結) 18年 9月中間期 24,655,472 株 17年 9月中間期 22,115,949 株 18年 3月期 22,404,521 株

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高
	百万円		百万円		百万円		百万円
18年 9月中間期	60		△ 122		△ 532		5,411
17年 9月中間期	1,710		△ 49		△ 2,121		3,886
18年 3月期	3,743		△ 399		△ 1,692		6,004

## (4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 11 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 1 社

## (5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) - 社 (除外) - 社 持分法(新規) 1 社 (除外) - 社

## 2. 19年 3月期の連結業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
通期	68,900		1,420		1,630	

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 66円11銭

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件その他関連する事項については、添付資料の6ページを参照してください。

平成 19年 3月期 中間決算短信(連結)

平成 18年 11月 17日

上場会社名 株式会社 丹青社

上場取引所 東

コード番号 9743

本社所在都道府県

(URL <http://www.tanseisha.co.jp>)

東京都

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 渡辺 亮

問合せ先責任者 役職名 取締役常務経営管理本部長 氏名 鈴木 義隆 TEL (03) 3836 - 7282

決算取締役会開催日 平成 18年 11月 17日

米国会計基準採用の有無 無

## 1. 18年 9月中間期の連結業績 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

(1) 連結経営成績 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 9月中間期	27,404	10.0	△ 331	-	△ 253	-
17年 9月中間期	24,921	5.4	△ 573	-	△ 531	-
18年 3月期	62,547		608		627	

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年 9月中間期	601	-	25.23		25.11	
17年 9月中間期	△ 574	-	△ 26.02		-	
18年 3月期	187		7.82		7.68	

(注) ①持分法投資損益 18年 9月中間期 △0 百万円 17年 9月中間期 - 百万円 18年 3月期 - 百万円

②期中平均株式数(連結) 18年 9月中間期 23,838,974 株 17年 9月中間期 22,081,780 株 18年 3月期 22,113,888 株

③会計処理の方法の変更 無

④売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
18年 9月中間期	35,073		13,258		37.8	537.47
17年 9月中間期	30,465		11,015		36.2	498.09
18年 3月期	36,577		11,978		32.8	534.00

(注) 期末発行済株式数(連結) 18年 9月中間期 24,655,472 株 17年 9月中間期 22,115,949 株 18年 3月期 22,404,521 株

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高
	百万円		百万円		百万円		百万円
18年 9月中間期	60		△ 122		△ 532		5,411
17年 9月中間期	1,710		△ 49		△ 2,121		3,886
18年 3月期	3,743		△ 399		△ 1,692		6,004

## (4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 11 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 1 社

## (5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) - 社 (除外) - 社 持分法(新規) 1 社 (除外) - 社

## 2. 19年 3月期の連結業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
通期	68,900		1,420		1,630	

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 66 円 11 銭

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件その他関連する事項については、添付資料の6ページを参照してください。

## 経営成績および財政状態

### 1. 経営成績

#### (1) 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益のもと設備投資は増加し、雇用状況の改善から個人消費も堅調に推移する等、景気は緩やかに回復してまいりました。

当ディスプレイ業界の事業環境におきましては、流通小売業の設備投資や企業の販促関連投資が活発化し、明るさが増してまいりました。

このような状況のもと当グループは、お客様の事業のパートナー企業への変革をはかるとともに、制作体制の見直しや原価管理の徹底を推進し、収益力の向上に努めてまいりました。また、海外事業強化のため、中国に続いてフランス・パリ市にヨーロッパ駐在員事務所を開設し、新たなマーケットの開拓へ向けて積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は 274 億 4 百万円（前年同期比 10.0%増）となりました。利益面では、経常損失は 2 億 25 百万円（前年同期 経常損失 5 億 45 百万円）となりましたが、厚生年金基金代行返上益 18 億 58 百万円を特別利益として計上し、中間純利益は 6 億 63 百万円（前年同期 中間純損失 5 億 81 百万円）となりました。

なお、当グループの売上高は、通常の営業の形態として、上半期に比べ下半期に完成する工事の割合が大きいため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、当期の中間配当金につきましては、1 株につき 5 円とさせていただくことにいたしました。

セグメント別の営業の概況は次のとおりです。

#### 商業施設分野

商業施設分野では「伊勢丹本店」の改装工事を手掛ける等、百貨店の店舗投資や再開発に伴うショッピングセンターの開業が活発化しており、大型店市場の売上は前年同期を上回りました。

また、専門店市場および飲食店市場の売上も前年同期を上回りました。この結果、商業施設分野の売上高は 168 億 34 百万円（前年同期比 22.1%増）、営業利益は 10 億 61 百万円（前年同期比 84.9%増）となりました。

#### 恒久展示施設分野

恒久展示施設分野では、大型施設の完工が下半期に集中していることもあり、博物館市場の売上は前年同期を下回りました。また、「キャノンプラザ梅田」の新装工事等を手掛けたものの、ショールーム市場の売上も前年同期を下回りました。この結果、恒久展示施設分野の売上高は 13 億 66 百万円（前年同期比 56.0%減）、営業損失は 1 億 97 百万円（前年同期 営業利益 90 百万円）となりました。

## 短期展示施設分野

短期展示施設分野では、「グッドデザインプレゼンテーション2006」の展示工事および運營業務を手掛けた展示会市場ならびにイベント市場の売上は前年同期を上回りました。しかしながら、博覧会市場の売上は前年同期を下回り、短期展示施設分野の売上高は14億95百万円（前年同期比24.6%減）、営業利益は77百万円（前年同期 営業損失27百万円）となりました。

## その他の分野

その他の分野では、「ラウンドワン板橋店」の新装工事を手掛ける等、アミューズメント施設市場の売上は前年同期を上回りました。また、オフィス市場の売上は前年同期を下回りましたが、ホテル市場および空港等のその他専用施設市場の売上が前年同期を上回りました。この結果、その他の分野の売上高は77億7百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益は5億80百万円（前年同期比77.9%増）となりました。

<後略>

## 2. 財政状態

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローは、主に財務活動によるキャッシュ・フローの支出により「現金及び現金同等物の減少額」が5億92百万円となり、当中間連結会計期間末の残高は54億11百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、60百万円の収入となりました。これは、主に「未成工事支出金等」が34億13百万円増加したものの、「受取手形・完成工事未収入金等」が41億67百万円減少したことによるものであります。また、税金等調整前中間純利益を12億32百万円計上しましたが、現金の収入を伴わない厚生年金基金代行返上益を18億58百万円含んでおります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億22百万円の支出となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億32百万円の支出となりました。これは、主に短期借入金の減少及び社債の償還によるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標の推移は以下のとおりであります。

	平成17年3月期		平成18年3月期		平成19年3月期
	中間	期末	中間	期末	中間
自己資本比率	33.9%	27.2%	36.2%	32.8%	37.9%
時価ベースの自己資本比率	30.4%	23.7%	39.2%	35.9%	36.6%
債務償還年数	-	-	3.0年	1.5年	65.9年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	2.7	-	71.0	72.7	2.4

自己資本比率：(純資産－新株予約権－少数株主持分) / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

債務償還年数：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## 経営成績および財政状態

### 1. 経営成績

#### (1) 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益のもと設備投資は増加し、雇用状況の改善から個人消費も堅調に推移する等、景気は緩やかに回復してまいりました。

当ディスプレイ業界の事業環境におきましては、流通小売業の設備投資や企業の販促関連投資が活発化し、明るさが増してまいりました。

このような状況のもと当グループは、お客様の事業のパートナー企業への変革をはかるとともに、制作体制の見直しや原価管理の徹底を推進し、収益力の向上に努めてまいりました。また、海外事業強化のため、中国に続いてフランス・パリ市にヨーロッパ駐在員事務所を開設し、新たなマーケットの開拓へ向けて積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は 274 億 4 百万円（前年同期比 10.0%増）となりました。利益面では、経常損失は 2 億 53 百万円（前年同期 経常損失 5 億 31 百万円）となりましたが、厚生年金基金代行返上益 18 億 58 百万円を特別利益として計上し、中間純利益は 6 億 1 百万円（前年同期 中間純損失 5 億 74 百万円）となりました。

なお、当グループの売上高は、通常の営業の形態として、上半期に比べ下半期に完成する工事の割合が大きいため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、当期の中間配当金につきましては、1 株につき 5 円とさせていただくことにいたしました。

セグメント別の営業の概況は次のとおりです。

#### 商業施設分野

商業施設分野では「伊勢丹本店」の改装工事を手掛ける等、百貨店の店舗投資や再開発に伴うショッピングセンターの開業が活発化しており、大型店市場の売上は前年同期を上回りました。

また、専門店市場および飲食店市場の売上も前年同期を上回りました。この結果、商業施設分野の売上高は 168 億 34 百万円（前年同期比 22.1%増）、営業利益は 10 億 33 百万円（前年同期比 75.2%増）となりました。

#### 恒久展示施設分野

恒久展示施設分野では、大型施設の完工が下半期に集中していることもあり、博物館市場の売上は前年同期を下回りました。また、「キャノンプラザ梅田」の新装工事等を手掛けたものの、ショールーム市場の売上も前年同期を下回りました。この結果、恒久展示施設分野の売上高は 13 億 66 百万円（前年同期比 56.0%減）、営業損失は 1 億 97 百万円（前年同期 営業利益 90 百万円）となりました。

## 短期展示施設分野

短期展示施設分野では、「グッドデザインプレゼンテーション2006」の展示工事および運營業務を手掛けた展示会市場ならびにイベント市場の売上は前年同期を上回りました。しかしながら、博覧会市場の売上は前年同期を下回り、短期展示施設分野の売上高は14億95百万円（前年同期比24.6%減）、営業利益は77百万円（前年同期 営業損失29百万円）となりました。

## その他の分野

その他の分野では、「ラウンドワン板橋店」の新装工事を手掛ける等、アミューズメント施設市場の売上は前年同期を上回りました。また、オフィス市場の売上は前年同期を下回りましたが、ホテル市場および空港等のその他専用施設市場の売上が前年同期を上回りました。この結果、その他の分野の売上高は77億7百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益は5億80百万円（前年同期比77.9%増）となりました。

<後略>

## 2. 財政状態

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローは、主に財務活動によるキャッシュ・フローの支出により「現金及び現金同等物の減少額」が5億92百万円となり、当中間連結会計期間末の残高は54億11百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、60百万円の収入となりました。これは、主に「未成工事支出金等」が33億85百万円増加したものの、「受取手形・完成工事未収入金等」が41億67百万円減少したことによるものであります。また、税金等調整前中間純利益を12億4百万円計上しましたが、現金の収入を伴わない厚生年金基金代行返上益を18億58百万円含んでおります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億22百万円の支出となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億32百万円の支出となりました。これは、主に短期借入金の減少及び社債の償還によるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標の推移は以下のとおりであります。

	平成17年3月期		平成18年3月期		平成19年3月期
	中間	期末	中間	期末	中間
自己資本比率	33.8%	27.1%	36.2%	32.8%	37.8%
時価ベースの自己資本比率	30.4%	23.8%	39.2%	35.9%	36.7%
債務償還年数	-	-	3.0年	1.5年	65.9年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	2.7	-	71.0	72.7	2.4

自己資本比率：(純資産－新株予約権－少数株主持分) / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

債務償還年数：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## 比較中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 平成18年9月30日		前中間連結会計期間 平成17年9月30日		増減(△)	前連結会計年度 平成18年3月31日	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
( 資 産 の 部 )	( 35,147 )	( 100.0 )	( 30,488 )	( 100.0 )	( 4,659 )	( 36,597 )	( 100.0 )
I 流 動 資 産	26,679	75.9	22,832	74.9	3,846	28,145	76.9
現 金 預 金	5,411		3,886		1,524	6,004	
受取手形・完成工事未収入金等	13,432		12,332		1,100	17,630	
未成工事支出金等	6,906		5,417		1,489	3,492	
そ の 他	965		1,222		△ 256	1,043	
貸倒引当金	△ 37		△ 26		△ 11	△ 25	
II 固 定 資 産	8,468	24.1	7,655	25.1	813	8,452	23.1
有 形 固 定 資 産	3,366		3,354		12	3,371	
建 物 ・ 構 築 物	1,602		1,575		27	1,589	
機 械 ・ 運 搬 具 ・ 工 具 器 具 備 品	491		445		46	464	
土 地	2,749		2,755		△ 5	2,755	
建 設 仮 勘 定	1		-		1	-	
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,479		△ 1,421		△ 57	△ 1,438	
無 形 固 定 資 産	159		271		△ 112	271	
投 資 そ の 他 の 資 産	4,943		4,029		913	4,809	
投 資 有 価 証 券	3,116		2,712		404	3,548	
そ の 他	2,024		1,470		554	1,463	
貸倒引当金	△ 197		△ 152		△ 45	△ 202	
資 産 合 計	35,147	100.0	30,488	100.0	4,659	36,597	100.0

## 比較中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 平成18年9月30日		前中間連結会計期間 平成17年9月30日		増減(△)	前連結会計年度 平成18年3月31日	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
		%		%			%
(負債の部)	(21,815)	(62.1)	(19,453)	(63.8)	(2,361)	(24,599)	(67.2)
I 流動負債	20,659	58.8	17,253	56.6	3,406	21,693	59.3
支払手形・工事未払金等	11,079		9,553		1,525	13,780	
短期借入金	3,700		4,473		△773	3,970	
一年以内償還予定の社債	300		300		-	600	
未成工事受入金	3,654		1,348		2,306	1,142	
賞与引当金	924		831		93	759	
役員賞与引当金	23		-		23	-	
完成工事補償引当金	45		50		△4	43	
工事損失引当金	64		36		27	41	
その他	868		660		208	1,356	
II 固定負債	1,155	3.3	2,199	7.2	△1,044	2,906	7.9
社債	-		300		△300	900	
退職給付引当金	38		1,444		△1,405	1,521	
役員退職慰労引当金	413		441		△28	475	
その他	703		13		690	8	
(少数株主持分)	(-)	(-)	(5)	(0.0)	(-)	(8)	(0.0)
少数株主持分	-	-	5	0.0	-	8	0.0
(資本の部)	(-)	(-)	(11,029)	(36.2)	(-)	(11,989)	(32.8)
I 資本金	-	-	3,423	11.2	-	3,497	9.6
II 資本剰余金	-	-	3,423	11.2	-	3,497	9.6
III 利益剰余金	-	-	3,305	10.9	-	3,955	10.8
IV その他有価証券評価差額金	-	-	897	3.0	-	1,061	2.9
V 為替換算調整勘定	-	-	2	0.0	-	6	0.0
VI 自己株式	-	-	△23	△0.1	-	△27	△0.1
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	30,488	100.0	-	36,597	100.0
(純資産の部)	(13,332)	(37.9)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
I 株主資本	12,508	35.6	-	-	-	-	-
資本金	4,001		-		-	-	
資本剰余金	3,999		-		-	-	
利益剰余金	4,538		-		-	-	
自己株式	△29		-		-	-	
II 評価・換算差額等	817	2.3	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	808		-		-	-	
為替換算調整勘定	8		-		-	-	
III 少数株主持分	6	0.0	-	-	-	-	-
負債純資産合計	35,147	100.0	-	-	-	-	-

## 比較中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 平成18年9月30日		前中間連結会計期間 平成17年9月30日		増減(△)	前連結会計年度 平成18年3月31日	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
( 資 産 の 部 )	( 35,073 )	( 100.0 )	( 30,465 )	( 100.0 )	( 4,608 )	( 36,577 )	( 100.0 )
I 流 動 資 産	26,618	75.9	22,810	74.9	3,808	28,124	76.9
現 金 預 金	5,411		3,886		1,524	6,004	
受取手形・完成工事未収入金等	13,432		12,332		1,100	17,630	
未成工事支出金等	6,858		5,394		1,463	3,472	
そ の 他	954		1,222		△ 268	1,043	
貸倒引当金	△ 37		△ 26		△ 11	△ 25	
II 固 定 資 産	8,454	24.1	7,655	25.1	799	8,452	23.1
有 形 固 定 資 産	3,366		3,354		12	3,371	
建 物 ・ 構 築 物	1,602		1,575		27	1,589	
機 械 ・ 運 搬 具 ・ 工 具 器 具 備 品	491		445		46	464	
土 地	2,749		2,755		△ 5	2,755	
建 設 仮 勘 定	1		-		1	-	
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,479		△ 1,421		△ 57	△ 1,438	
無 形 固 定 資 産	159		271		△ 112	271	
投 資 そ の 他 の 資 産	4,929		4,029		899	4,809	
投 資 有 価 証 券	3,116		2,712		404	3,548	
そ の 他	2,010		1,470		540	1,463	
貸倒引当金	△ 197		△ 152		△ 45	△ 202	
資 産 合 計	35,073	100.0	30,465	100.0	4,608	36,577	100.0

## 比較中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 平成18年9月30日		前中間連結会計期間 平成17年9月30日		増減(△)	前連結会計年度 平成18年3月31日	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
		%		%			%
(負債の部)	(21,815)	(62.2)	(19,443)	(63.8)	(2,371)	(24,590)	(67.2)
I 流動負債	20,659	58.9	17,244	56.6	3,415	21,684	59.3
支払手形・工事未払金等	11,079		9,554		1,524	13,780	
短期借入金	3,700		4,473		△773	3,970	
一年以内償還予定の社債	300		300		-	600	
未成工事受入金	3,654		1,348		2,306	1,142	
賞与引当金	924		831		93	759	
役員賞与引当金	23		-		23	-	
完成工事補償引当金	45		50		△4	43	
工事損失引当金	64		36		27	41	
その他	868		649		218	1,346	
II 固定負債	1,155	3.3	2,199	7.2	△1,044	2,906	7.9
社債	-		300		△300	900	
退職給付引当金	38		1,444		△1,405	1,521	
役員退職慰労引当金	413		441		△28	475	
その他	703		13		690	8	
(少数株主持分)	(-)	(-)	(5)	(0.0)	(-)	(8)	(0.0)
少数株主持分	-	-	5	0.0	-	8	0.0
(資本の部)	(-)	(-)	(11,015)	(36.2)	(-)	(11,978)	(32.8)
I 資本金	-	-	3,423	11.3	-	3,497	9.6
II 資本剰余金	-	-	3,423	11.3	-	3,497	9.6
III 利益剰余金	-	-	3,292	10.8	-	3,943	10.8
IV その他有価証券評価差額金	-	-	897	2.9	-	1,061	2.9
V 為替換算調整勘定	-	-	2	0.0	-	6	0.0
VI 自己株式	-	-	△23	△0.1	-	△27	△0.1
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	30,465	100.0	-	36,577	100.0
(純資産の部)	(13,258)	(37.8)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
I 株主資本	12,434	35.5	-	-	-	-	-
資本金	4,001		-		-	-	
資本剰余金	3,999		-		-	-	
利益剰余金	4,464		-		-	-	
自己株式	△29		-		-	-	
II 評価・換算差額等	817	2.3	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	808		-		-	-	
為替換算調整勘定	8		-		-	-	
III 少数株主持分	6	0.0	-	-	-	-	-
負債純資産合計	35,073	100.0	-	-	-	-	-

## 比較中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日		前中間連結会計期間 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日		増減(△)	前連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売 上 高	27,404	100.0	24,921	100.0	2,483	62,547	100.0
II 売 上 原 価	23,546	85.9	21,727	87.2	1,818	54,333	86.9
売 上 総 利 益	3,857	14.1	3,193	12.8	664	8,214	13.1
III 販売費及び一般管理費	4,161	15.2	3,780	15.2	380	7,623	12.2
営業利益又は営業損失(△)	△ 303	△ 1.1	△ 587	△ 2.4	283	591	0.9
IV 営業外収益	137	0.5	104	0.4	33	203	0.4
受取利息	5		0		4	2	
受取配当金	21		21		△ 0	30	
事務所等賃貸収入	6		10		△ 4	20	
保険配当金	40		14		26	-	
仕入割引	30		29		1	56	
その他の他	34		27		6	94	
V 営業外費用	58	0.2	61	0.2	△ 3	183	0.3
支払利息	21		23		△ 2	51	
貸倒引当金繰入額	2		33		△ 30	84	
損害賠償金	11		-		11	26	
契約解除損	17		-		17	-	
その他の他	6		5		1	21	
経常利益又は経常損失(△)	△ 225	△ 0.8	△ 545	△ 2.2	320	610	1.0
VI 特別利益	1,874	6.8	109	0.4	1,765	458	0.7
貸倒引当金戻入益	3		5		△ 2	-	
投資有価証券売却益	-		84		△ 84	433	
厚生年金基金代行返上益	1,858		-		1,858	-	
受取保険金	-		19		△ 19	-	
その他特別利益	12		-		12	25	
VII 特別損失	416	1.5	335	1.3	81	368	0.6
前期損益修正損	55		134		△ 79	147	
減損損失	-		81		△ 81	81	
固定資産除却損	108		-		108	-	
投資有価証券売却損	-		81		△ 81	81	
退職給付制度移行に伴う分担金	213		-		213	-	
その他特別損失	40		37		2	58	
税金等調整前中間(当期)純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	1,232	4.5	△ 771	△ 3.1	2,003	700	1.1
法人税、住民税及び事業税	32	0.1	68	0.3	△ 36	209	0.3
過年度法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-	-	110	0.2
法人税等調整額	538	2.0	△ 261	△ 1.1	799	196	0.3
少数株主利益	-	-	2	0.0	△ 2	5	0.0
少数株主損失	2	0.0	-	-	2	-	-
中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	663	2.4	△ 581	△ 2.3	1,245	178	0.3

## 比較中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日		前中間連結会計期間 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日		増減(△)	前連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売 上 高	27,404	100.0	24,921	100.0	2,483	62,547	100.0
II 売 上 原 価	<u>23,574</u>	<u>86.0</u>	<u>21,713</u>	<u>87.1</u>	<u>1,860</u>	<u>54,314</u>	<u>86.8</u>
売 上 総 利 益	<u>3,830</u>	<u>14.0</u>	<u>3,207</u>	<u>12.9</u>	<u>622</u>	<u>8,233</u>	<u>13.2</u>
III 販売費及び一般管理費	4,161	15.2	3,780	15.2	380	<u>7,624</u>	12.2
営業利益又は営業損失(△)	<u>△ 331</u>	<u>△ 1.2</u>	<u>△ 573</u>	<u>△ 2.3</u>	<u>241</u>	<u>608</u>	<u>1.0</u>
IV 営業外収益	137	0.5	104	0.4	33	203	<u>0.3</u>
受取利息	5		0		4	2	
受取配当金	21		21		△ 0	30	
事務所等賃貸収入	6		10		△ 4	20	
保険配当金	40		14		26	-	
仕入割引	30		29		1	56	
その他の他	34		27		6	94	
V 営業外費用	58	0.2	61	0.2	△ 3	183	0.3
支払利息	21		23		△ 2	51	
貸倒引当金繰入額	2		33		△ 30	84	
損害賠償金	11		-		11	26	
契約解除損	17		-		17	-	
その他の他	6		5		1	21	
経常利益又は経常損失(△)	<u>△ 253</u>	<u>△ 0.9</u>	<u>△ 531</u>	<u>△ 2.1</u>	<u>278</u>	<u>627</u>	<u>1.0</u>
VI 特別利益	1,874	6.8	109	0.4	1,765	458	0.7
貸倒引当金戻入益	3		5		△ 2	-	
投資有価証券売却益	-		84		△ 84	433	
厚生年金基金代行返上益	1,858		-		1,858	-	
受取保険金	-		19		△ 19	-	
その他特別利益	12		-		12	25	
VII 特別損失	416	1.5	335	1.3	81	368	0.6
前期損益修正損	55		134		△ 79	147	
減損損失	-		81		△ 81	81	
固定資産除却損	108		-		108	-	
投資有価証券売却損	-		81		△ 81	81	
退職給付制度移行に伴う分担金	213		-		213	-	
その他特別損失	40		37		2	58	
税金等調整前中間(当期)純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	<u>1,204</u>	<u>4.4</u>	<u>△ 757</u>	<u>△ 3.0</u>	<u>1,961</u>	<u>717</u>	<u>1.1</u>
法人税、住民税及び事業税	32	0.1	<u>75</u>	0.3	<u>△ 42</u>	<u>217</u>	0.3
過年度法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-	-	110	0.2
法人税等調整額	<u>572</u>	<u>2.1</u>	△ 261	<u>△ 1.0</u>	<u>833</u>	196	0.3
少数株主利益	-	-	2	0.0	△ 2	5	0.0
少数株主損失	2	0.0	-	-	2	-	-
中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	<u>601</u>	<u>2.2</u>	<u>△ 574</u>	△ 2.3	<u>1,176</u>	<u>187</u>	0.3

(訂正前)

株式会社 丹青社

## 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（自平成18年4月1日 至平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	3,497	3,497	3,955	△ 27	10,922	1,061	6	1,067	8	11,998
中間連結会計期間中の変動額										
新株の発行	503	502			1,006					1,006
利益処分による剰余金の配当			△ 67		△ 67					△ 67
利益処分による役員賞与			△ 13		△ 13					△ 13
中間純利益			663		663					663
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△ 252	1	△ 250	△ 1	△ 251
中間連結会計期間中の変動額合計	503	502	582	△ 2	1,586	△ 252	1	△ 250	△ 1	1,334
平成18年9月30日残高	4,001	3,999	4,538	△ 29	12,508	808	8	817	6	13,332

## 中間連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日		前連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金額		金額	
(資本剰余金の部)				
I 資本剰余金期首残高		3,415		3,415
II 資本剰余金増加高		8		81
増資による新株の発行	8		81	
自己株式処分差益	0		0	
III 資本剰余金中間期末（期末）残高		3,423		3,497
(利益剰余金の部)				
I 利益剰余金期首残高		4,083		4,083
II 利益剰余金増加高		-		178
当期純利益	-		178	
III 利益剰余金減少高		777		306
株主配当金	132		243	
役員賞与金	53		53	
中間純損失	581		-	
連結会社減少に伴う剰余金減少高	9		9	
IV 利益剰余金中間期末（期末）残高		3,305		3,955

(訂正後)

株式会社 丹青社

## 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（自平成18年4月1日 至平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	3,497	3,497	3,943	△ 27	10,910	1,061	6	1,067	8	11,986
中間連結会計期間中の変動額										
新株の発行	503	502			1,006					1,006
利益処分による剰余金の配当			△ 67		△ 67					△ 67
利益処分による役員賞与			△ 13		△ 13					△ 13
中間純利益			601		601					601
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△ 252	1	△ 250	△ 1	△ 251
中間連結会計期間中の変動額合計	503	502	520	△ 2	1,523	△ 252	1	△ 250	△ 1	1,271
平成18年9月30日残高	4,001	3,999	4,464	△ 29	12,434	808	8	817	6	13,258

## 中間連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日		前連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金額		金額	
(資本剰余金の部)				
I 資本剰余金期首残高		3,415		3,415
II 資本剰余金増加高		8		81
増資による新株の発行	8		81	
自己株式処分差益	0		0	
III 資本剰余金中間期末（期末）残高		3,423		3,497
(利益剰余金の部)				
I 利益剰余金期首残高		4,062		4,062
II 利益剰余金増加高		-		187
当期純利益	-		187	
III 利益剰余金減少高		770		306
株主配当金	132		243	
役員賞与金	53		53	
中間純損失	574		-	
連結会社減少に伴う剰余金減少高	9		9	
IV 利益剰余金中間期末（期末）残高		3,292		3,943

## 比較中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	増減 (△)	前連結会計年度
	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月 30日	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年 9月 30日		自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月 31日
	金 額	金 額		金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前中間(当期)純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	1,232	△ 771	2,003	700
減価償却費	77	73	3	159
減損損失	-	81	△ 81	81
貸倒引当金の増加・減少(△)額	7	39	△ 31	88
賞与引当金の増加・減少(△)額	187	△ 154	342	△ 225
完成工事補償引当金の増加・減少(△)額	2	△ 10	12	△ 17
工事損失引当金の増加・減少(△)額	22	36	△ 13	41
退職給付引当金等の増加・減少(△)額	313	120	192	231
受取利息及び受取配当金	△ 26	△ 22	△ 3	△ 32
支払利息	21	23	△ 2	51
有価証券・投資有価証券評価損	35	29	6	37
有価証券・投資有価証券売却損・益(△)	-	△ 2	2	△ 351
固定資産売却・除却損	108	8	99	17
厚生年金基金代行返上益	△ 1,858	-	△ 1,858	-
退職給付制度移行に伴う分担金	213	-	213	-
役員賞与の支払額	△ 14	△ 53	39	△ 53
受取手形・完成工事未収入金等の減少・増加(△)額	4,167	12,340	△ 8,172	6,965
未成工事支出金等の減少・増加(△)額	△ 3,413	△ 2,568	△ 845	△ 643
支払手形・工事未払金等の増加・減少(△)額	△ 2,701	△ 7,398	4,697	△ 3,171
未成工事受入金の増加・減少(△)額	2,512	734	1,778	528
その他	△ 618	50	△ 669	310
小 計	270	2,556	△ 2,286	4,718
利息及び配当金の受取額	27	22	4	31
利息の支払額	△ 25	△ 24	△ 1	△ 51
法人税等の支払額	△ 211	△ 845	633	△ 954
営業活動によるキャッシュ・フロー	60	1,710	△ 1,649	3,743
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出	△ 58	△ 47	△ 10	△ 110
有形固定資産の売却による収入	1	1	0	5
無形固定資産の取得による支出	△ 23	△ 53	30	△ 92
無形固定資産の売却による収入	-	-	-	0
投資有価証券の取得による支出	△ 30	△ 48	17	△ 698
投資有価証券の売却による収入	0	120	△ 120	538
連結範囲の変更を伴う関係会社持分の取得による支出	-	△ 20	20	△ 20
連結範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	-	15	△ 15	15
その他	△ 12	△ 17	5	△ 37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 122	△ 49	△ 73	△ 399
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の増加・減少(△)額	△ 270	△ 2,000	1,730	△ 2,500
長期借入金の返済による支出	△ 0	△ 4	3	△ 7
社債の発行による収入	-	-	-	1,000
社債の償還による支出	△ 300	-	△ 300	-
株式の発行による収入	106	17	88	63
少数株主への株式の発行による収入	2	-	2	-
自己株式の売却による収入・取得による支出(△)	△ 2	△ 2	△ 0	△ 6
配当金の支払額	△ 67	△ 131	64	△ 242
少数株主への配当金の支払額	△ 0	-	△ 0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 532	△ 2,121	1,588	△ 1,692
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	1	3	△ 1	8
<b>V 現金及び現金同等物の増加・減少(△)額</b>	△ 592	△ 457	△ 135	1,660
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	6,004	4,343	1,660	4,343
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	5,411	3,886	1,524	6,004

## 比較中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	増減 (△)	前連結会計年度
	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月 30日	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年 9月 30日		自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月 31日
	金 額	金 額		金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前中間(当期)純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	1,204	△ 757	1,961	717
減価償却費	77	73	3	159
減損損失	-	81	△ 81	81
貸倒引当金の増加・減少(△)額	7	39	△ 31	88
賞与引当金の増加・減少(△)額	187	△ 154	342	△ 225
完成工事補償引当金の増加・減少(△)額	2	△ 10	12	△ 17
工事損失引当金の増加・減少(△)額	22	36	△ 13	41
退職給付引当金等の増加・減少(△)額	313	120	192	231
受取利息及び受取配当金	△ 26	△ 22	△ 3	△ 32
支払利息	21	23	△ 2	51
有価証券・投資有価証券評価損	35	29	6	37
有価証券・投資有価証券売却損・益(△)	-	△ 2	2	△ 351
固定資産売却・除却損	108	8	99	17
厚生年金基金代行返上益	△ 1,858	-	△ 1,858	-
退職給付制度移行に伴う分担金	213	-	213	-
役員賞与の支払額	△ 14	△ 53	39	△ 53
受取手形・完成工事未収入金等の減少・増加(△)額	4,167	12,340	△ 8,172	6,965
未成工事支出金等の減少・増加(△)額	△ 3,385	△ 2,581	△ 803	△ 659
支払手形・工事未払金等の増加・減少(△)額	△ 2,701	△ 7,399	4,697	△ 3,173
未成工事受入金の増加・減少(△)額	2,512	734	1,778	528
その他	△ 618	50	△ 669	310
小 計	270	2,556	△ 2,286	4,718
利息及び配当金の受取額	27	22	4	31
利息の支払額	△ 25	△ 24	△ 1	△ 51
法人税等の支払額	△ 211	△ 845	633	△ 954
営業活動によるキャッシュ・フロー	60	1,710	△ 1,649	3,743
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出	△ 58	△ 47	△ 10	△ 110
有形固定資産の売却による収入	1	1	0	5
無形固定資産の取得による支出	△ 23	△ 53	30	△ 92
無形固定資産の売却による収入	-	-	-	0
投資有価証券の取得による支出	△ 30	△ 48	17	△ 698
投資有価証券の売却による収入	0	120	△ 120	538
連結範囲の変更を伴う関係会社持分の取得による支出	-	△ 20	20	△ 20
連結範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	-	15	△ 15	15
その他	△ 12	△ 17	5	△ 37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 122	△ 49	△ 73	△ 399
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の増加・減少(△)額	△ 270	△ 2,000	1,730	△ 2,500
長期借入金の返済による支出	△ 0	△ 4	3	△ 7
社債の発行による収入	-	-	-	1,000
社債の償還による支出	△ 300	-	△ 300	-
株式の発行による収入	106	17	88	63
少数株主への株式の発行による収入	2	-	2	-
自己株式の売却による収入・取得による支出(△)	△ 2	△ 2	△ 0	△ 6
配当金の支払額	△ 67	△ 131	64	△ 242
少数株主への配当金の支払額	△ 0	-	△ 0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 532	△ 2,121	1,588	△ 1,692
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	1	3	△ 1	8
<b>V 現金及び現金同等物の増加・減少(△)額</b>	△ 592	△ 457	△ 135	1,660
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	6,004	4,343	1,660	4,343
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	5,411	3,886	1,524	6,004

会計処理の変更

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

当中間連結会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。

これまでの資本の部の合計に相当する金額は、13,325百万円であります。

なお、当中間連結会計期間における中間連結貸借対照表の純資産の部については、中間連結財務諸表規則の改正に伴い、改正後の中間連結財務諸表規則により作成しております。

<後略>

会計処理の変更

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

当中間連結会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。

これまでの資本の部の合計に相当する金額は、13,251百万円であります。

なお、当中間連結会計期間における中間連結貸借対照表の純資産の部については、中間連結財務諸表規則の改正に伴い、改正後の中間連結財務諸表規則により作成しております。

<後略>

## セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)						
	商業施設 分野	恒久展示 施設分野	短期展示 施設分野	その他の 分野	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,834	1,366	1,495	7,707	27,404	-	27,404
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	709	709	( 709)	-
計	16,834	1,366	1,495	<u>8,416</u>	28,113	( 709)	27,404
営 業 費 用	<u>15,773</u>	1,564	1,418	<u>7,836</u>	<u>26,593</u>	1,114	<u>27,707</u>
営業利益又は営業損失(△)	<u>1,061</u>	△ 197	77	580	<u>1,520</u>	(1,824)	<u>△ 303</u>

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)						
	商業施設 分野	恒久展示 施設分野	短期展示 施設分野	その他の 分野	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,793	3,103	1,982	6,041	24,921	-	24,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	666	666	( 666)	-
計	13,793	3,103	1,982	6,707	25,587	( 666)	24,921
営 業 費 用	<u>13,219</u>	3,013	<u>2,010</u>	6,381	<u>24,624</u>	884	<u>25,508</u>
営業利益又は営業損失(△)	<u>573</u>	90	<u>△ 27</u>	326	<u>962</u>	(1,550)	<u>△ 587</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)						
	商業施設 分野	恒久展示 施設分野	短期展示 施設分野	その他の 分野	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	31,559	8,451	5,459	17,076	62,547	-	62,547
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	1,310	1,310	(1,310)	-
計	31,559	8,451	5,459	18,387	63,858	(1,310)	62,547
営 業 費 用	<u>29,813</u>	7,836	<u>5,189</u>	17,244	<u>60,084</u>	<u>1,872</u>	<u>61,956</u>
営 業 利 益	<u>1,746</u>	615	<u>269</u>	1,142	<u>3,774</u>	<u>(3,182)</u>	<u>591</u>

注1. 事業区分は内部管理上採用している市場区分によっております。

## 2. 各分野の主な工事

- (1) 商業施設分野 …………… 百貨店、各種専門店、飲食店等の内装  
(2) 恒久展示施設分野 …………… 博物館、各種ショールーム等の展示  
(3) 短期展示施設分野 …………… 博覧会、展示会等の展示  
(4) その他の分野 …………… オフィス、ホテル、その他の施設等の内装等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は当中間連結会計期間1,824百万円、前中間連結会計期間1,550百万円、前連結会計年度3,182百万円であります。その主なものは、当社及び連結子会社の総務部門等の管理部門に係る費用であります。

<後略>

## セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)						
	商業施設 分野	恒久展示 施設分野	短期展示 施設分野	その他の 分野	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,834	1,366	1,495	7,707	27,404	-	27,404
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	709	709	(709)	-
計	16,834	1,366	1,495	8,417	28,113	(709)	27,404
営 業 費 用	15,801	1,564	1,418	7,837	26,620	1,114	27,735
営業利益又は営業損失(△)	1,033	△197	77	580	1,492	(1,824)	△331

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年9月30日)						
	商業施設 分野	恒久展示 施設分野	短期展示 施設分野	その他の 分野	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,793	3,103	1,982	6,041	24,921	-	24,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	666	666	(666)	-
計	13,793	3,103	1,982	6,707	25,587	(666)	24,921
営 業 費 用	13,203	3,013	2,012	6,381	24,610	884	25,494
営業利益又は営業損失(△)	589	90	△29	326	976	(1,550)	△573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)						
	商業施設 分野	恒久展示 施設分野	短期展示 施設分野	その他の 分野	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	31,559	8,451	5,459	17,076	62,547	-	62,547
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	1,310	1,310	(1,310)	-
計	31,559	8,451	5,459	18,387	63,858	(1,310)	62,547
営 業 費 用	29,793	7,836	5,191	17,244	60,065	1,874	61,939
営 業 利 益	1,766	615	268	1,142	3,792	(3,184)	608

注1. 事業区分は内部管理上採用している市場区分によっております。

## 2. 各分野の主な工事

- (1) 商業施設分野 …………… 百貨店、各種専門店、飲食店等の内装  
(2) 恒久展示施設分野 …………… 博物館、各種ショールーム等の展示  
(3) 短期展示施設分野 …………… 博覧会、展示会等の展示  
(4) その他の分野 …………… オフィス、ホテル、その他の施設等の内装等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は当中間連結会計期間1,824百万円、前中間連結会計期間1,550百万円、前連結会計年度3,184百万円であります。その主なものは、当社及び連結子会社の総務部門等の管理部門に係る費用であります。

<後略>